

2021 年度 DPC 調査参加病院向け
Hファイル入力支援ソフト

インストールマニュアル

(株)健康保険医療情報総合研究所

目次

注意事項.....	3
1. はじめに	4
1-1. 動作環境	4
1-2. 各場合における参照ページ.....	4
2. 必要コンポーネントのインストール	5
2-1. .Net Framework3.5 をインストール／有効化の確認	5
2-2. .Net Framework3.5 をインストール／有効化する.....	6
3. 新規セットアップ／バージョンアップ	8
3-1. セットアップガイドを起動する	8
4. アンインストール	14
5. Q&A.....	15
6. インストールができない場合	16

注意事項

ソフトウェアのご利用にあたりましては、以下の内容にご注意ください。

下記のソフトウェアおよびマニュアルは、「DPC 導入の影響評価に係る調査」に参加する医療機関が、データを作成することを支援する目的で配布するものであり、それ以外の目的での利用を禁止しています。

また、調査参加病院以外の医療機関が利用すること、内容に基づいて類似のソフトウェアを開発することを禁止します。

- ・ 「H ファイル入力支援ソフト」
- ・ 「はじめにお読みください～初回導入時設定～」
- ・ 「H ファイル入力支援ソフトマニュアル」
- ・ 「H ファイル入力支援ソフトインストールマニュアル」
- ・ 「H ファイル入力支援ソフト DB バックアップ機能マニュアル」

また、以下の内容は、作業前に必ず確認してください。

- ・ 使用前に本マニュアルをよくお読みになってください。
- ・ お読みになったあとは、いつでもご覧できるように保管してください。
- ・ 本マニュアルでは、当ソフトの設定／使用を行う上で必要となることを記載しております。一般的なパソコンの操作や設定については、お使いのパソコンのマニュアルや市販の書籍等をご覧ください。
- ・ 本マニュアルの内容の無断転載・無断複写を禁止します。
- ・ 内容について、万が一不審な点や誤り、記載漏れ等お気づきのことがありましたら DPC 調査事務局までご連絡ください。
- ・ 必ずコンピュータの管理者権限を持つユーザーで作業を行ってください。
- ・ インストールできない場合は、他の PC でのインストールおよび運用をお勧めいたします。
- ・ 当ソフトは院内の環境設定などにより、動作しない場合があります。完全に動作保証するものではありませんのでご了承ください。
- ・ セットアップ作業には、十分な作業時間を確保したうえで、行ってください。なお、セットアップ時間については、コンピュータのスペックや環境によって異なります。
- ・ 他のシステムやアプリケーションは、作業が完了するまで起動しないでください。
- ・ 起動している場合は、すべて終了させてから作業を開始してください。

1. はじめに

1-1. 動作環境

Hファイル入力支援ソフトの動作環境は下表のとおりとなります。

OS ※	Windows10 (32 ビット、64 ビット) 【推奨】 Windows8.1 (32 ビット、64 ビット)
DB	SQLServer2014 Express SP3
CPU	SQLServer で要求されている性能をみたすもの ※Pentium4 以上推奨
メモリ	2GB を超えるもの
システムドライブの空容量	1GB 以上 【推奨】 (200MB 以下は、不可)
セットアップ先ドライブの空容量	1GB 以上 【推奨】 (200MB 以下は、不可)
必要コンポーネント	.Net Framework 3.5 .Net Framework 4.0

※Windows 7につきましては、2020 年 1 月 14 日をもってマイクロソフト社の延長サポートが終了したため、動作保証は出来かねますことをご了承ください。

1-2. 各場合における参照ページ

■新規セットアップを実施する場合

「[2. 必要コンポーネントのインストール](#)」の章を参照、確認してください。

■バージョンアップを実施する場合

「[3. 新規セットアップ／バージョンアップ](#)」の章を参照してください。

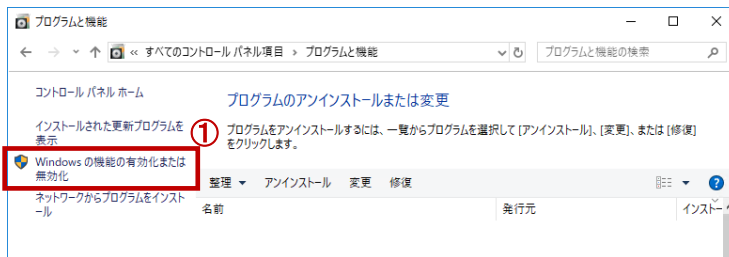
2. 必要コンポーネントのインストール

Hファイル入力支援ソフトの新規セットアップをする前に、以下をインストールしてください。

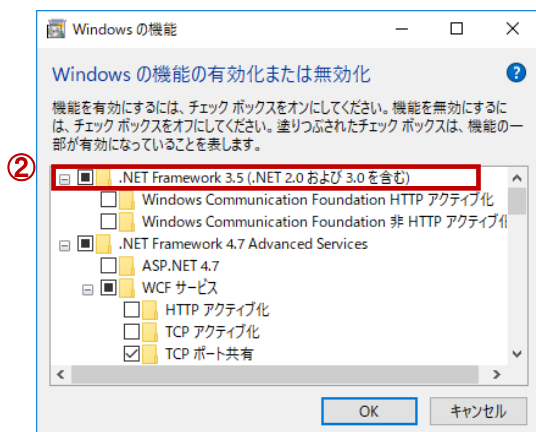
- ・ .Net Framework 3.5

2-1. .Net Framework3.5 をインストール／有効化の確認

【確認方法】



- ① Windows の「スタートメニュー」→「Windows システムツール」→「コントロールパネル」→「プログラムと機能」の一覧から「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックしてください。



- ② 表示された画面から、「.NET Framework 3.5(.NET 2.0 および 3.0 を含む)」のチェックが塗りつぶされている場合は有効化されています。

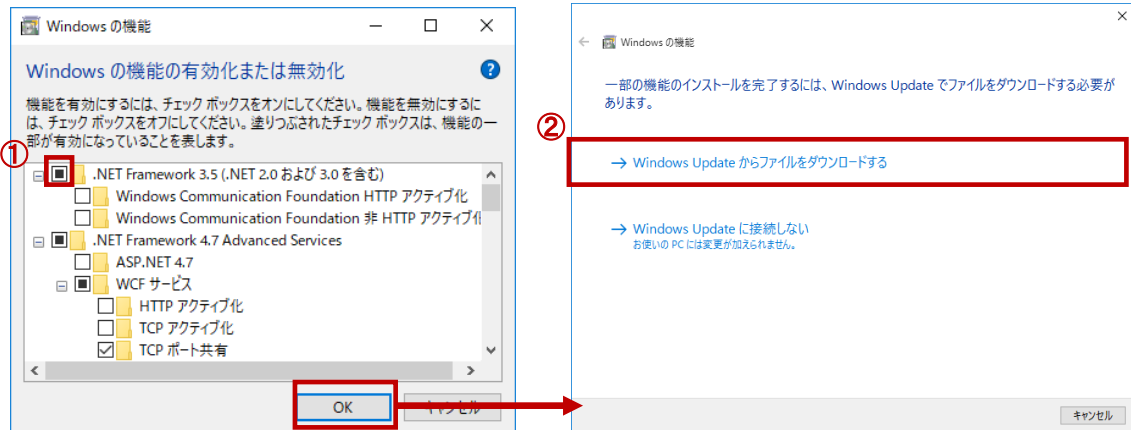
- ※ 塗りつぶされていない場合は、機能が無効化されていますので、次章、「[2-2. .Net Framework3.5 をインストール／有効化する](#)」に従ってインストール／有効化を実施してください。

2-2. .Net Framework3.5 をインストール／有効化する

有効化を行うために、以下の手順に従って実施してください。なお、作業対象 PC が「オンライン」か「オフライン」で対応内容が変わりますのでご注意ください。

■オンライン環境でのインストール／有効化

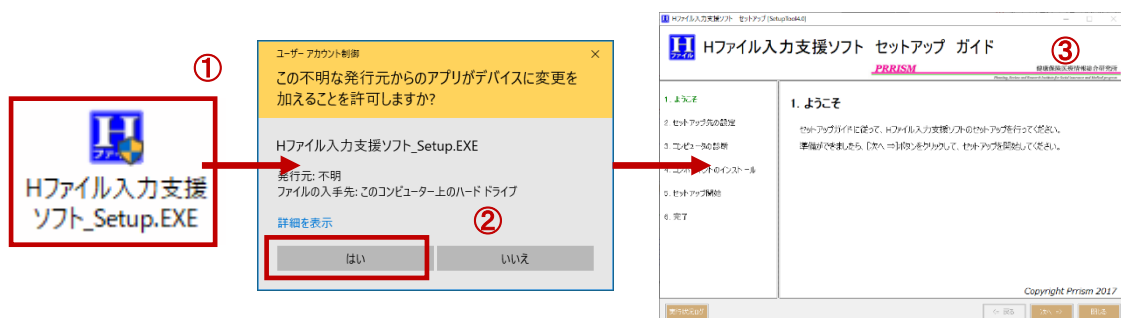
作業対象 PC が「オンライン」であり「Windows Update」が可能な状態であれば、以下の手順に従ってください。



- ① 「2-1. .Net Framework3.5 をインストール／有効化の確認」で開いた設定画面のチェックボックスを塗りつぶして[OK]をクリックします。
- ② 「Windows Update からファイルをダウンロードする」をクリックし、変更が正常に完了することで有効化されます。

■オフライン環境でのインストール／有効化

作業対象 PC が「オフライン」である場合は、以下の手順に従ってください。



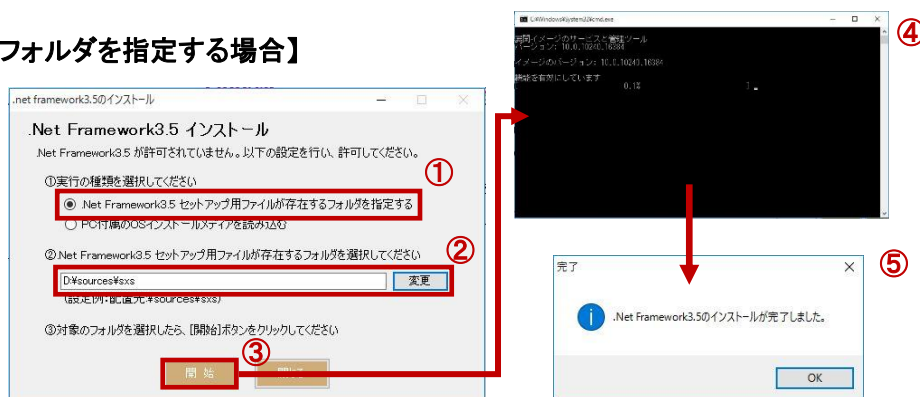
- ① ダウンロードした「H ファイル入力支援ソフト_Setup.EXE」をダブルクリックします。
- ② ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。
- ③ H ファイル入力支援ソフト セットアップガイドが起動します。
- ④ ③の画面と同時に「.Net Framework3.5 インストール」の画面が表示されるので、次項目（[■新規セットアップ時に下記のような画面が出た場合](#)）を参考に「.Net Framework3.5」のインストールを実施してください。

■新規セットアップ時に下記のような画面が出た場合

表示された画面の内容に従って、「.Net Framework3.5」のインストールを実施してください。

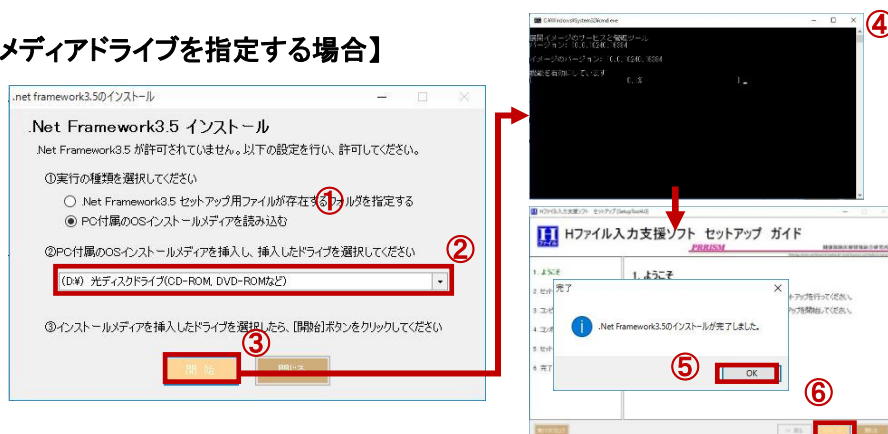
- ※ 作業PCが「オンライン」環境である場合は、「[■オンライン環境でのインストール／有効化](#)」を参考に設定を実施してください。

【フォルダを指定する場合】



- ① 「.Net Framework3.5 セットアップ用ファイルが存在するフォルダを指定する」を選択します。
- ② [変更]ボタンより、対象のフォルダを選択します。
- ③ [開始]ボタンをクリックします。
- ④ 処理が開始されますので、完了するまで待機します。
- ⑤ 完了メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。

【メディアドライブを指定する場合】



- ① 「PC 付属の OS インストールメディアを読み込む」を選択します。
- ② OS インストールメディアを挿入した、ドライブをプルダウンより選択します。
- ③ [開始]ボタンをクリックします。
- ④ 処理が開始されますので、完了するまで待機します。
- ⑤ 完了メッセージが表示されたら[OK]ボタンをクリックします。
- ⑥ 一度セットアップガイドツールを終了します。[閉じる]ボタンをクリックします。
- ⑦ インストールの確認が表示された場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

※「.Net Framework3.5」のインストールエラーにおきましては、ソフトと直接関係のないお使いの Windows 環境によるエラーの場合、お問い合わせいただいても、ご回答できない場合がございます。あらかじめご了承ください。

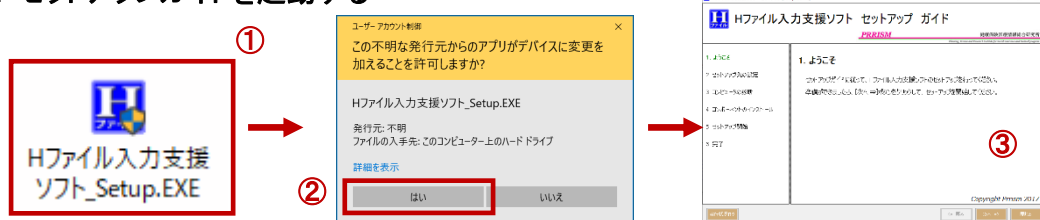
3. 新規セットアップ／バージョンアップ

以下の手順に従い、H ファイル入力支援ソフトの新規セットアップ／バージョンアップを行ってください。

【注意】バックアップ確認

H ファイル入力支援ソフトのバージョンアップを行う際は、後述する「データファイルのバックアップを行う」を参照のうえ、データファイルのバックアップを事前に行ってください。

3-1. セットアップガイドを起動する



- ① ダウンロードした「H ファイル入力支援ソフト_Setup.EXE」をダブルクリックします。
- ② ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。
- ③ Hファイル入力支援ソフト セットアップガイドが起動します。

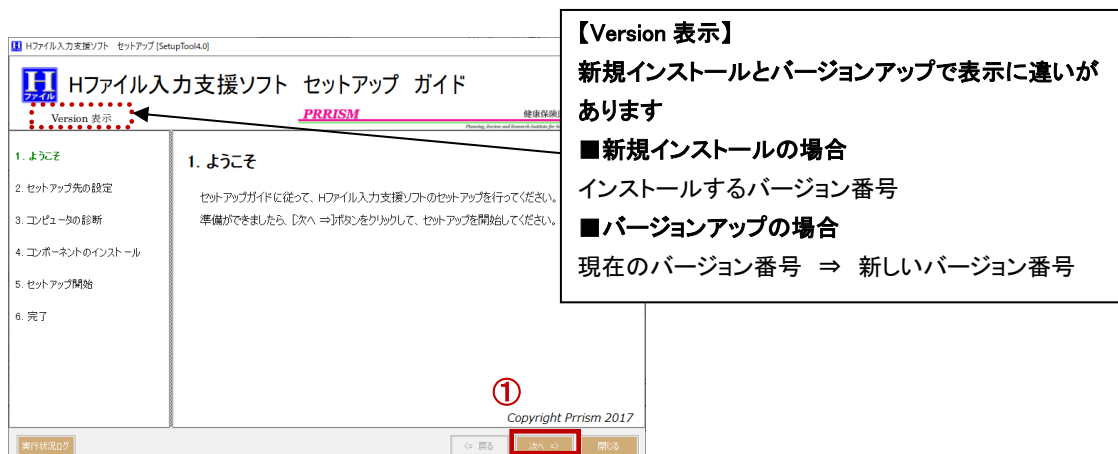
【注意】.Net Framework インストール確認

作業対象のPCに「.Net Framework3.5」がインストールされていない場合、「.Net Framework3.5」のインストールを求める画面が表示されます。

その際は、「[■新規セットアップ時に下記のような画面が出た場合](#)」に記載された内容に従い、インストールを実行してください。

※インストール画面が表示されない場合は.Net Framework3.5 のインストール／有効化は完了しています。

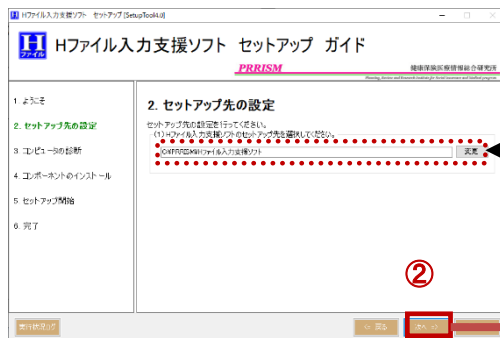
■セットアップの開始



- ① ようこそその画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き

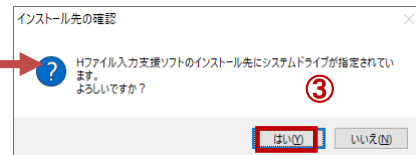


■新規インストールの場合

既定のセットアップ先以外にインストールする場合は、[変更]ボタンよりインストール先を変更してください。

■バージョンアップの場合

既にインストール済みの環境であるため、設定変更はできません。



② [次へ]ボタンをクリックします。

③ システムドライブと同じドライブを選択した際には、確認メッセージが表示されますので [はい]ボタンをクリックします。

【注意】 新規インストール時のセットアップ先のフォルダ設定について

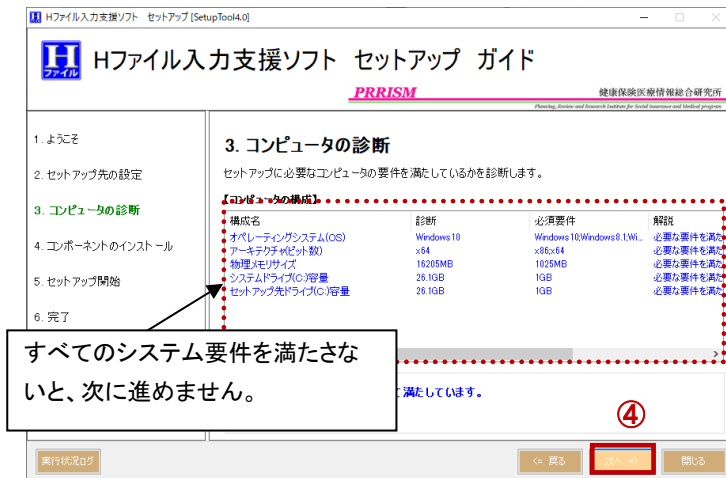
[変更]ボタンで任意のフォルダを指定した場合、インストール先は「(任意のフォルダ)¥ H ファイル入力支援ソフト」に設定されます。

※ただし、任意のフォルダに「H ファイル入力支援ソフト」の文字が含まれている場合は、インストール先は任意のフォルダに設定されます。

セットアップ先のフォルダに指定がない場合は、初めに記載されている既定の設定である「C:¥PRRISM¥ H ファイル入力支援ソフト」のままインストールすることを推奨します。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き



④コンピュータの診断画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

【コンピュータの診断について】

構成名	診断	必須要件	解説
オペレーティングシステム(OS)	Windows 10	Windows 10/Windows 8.1/Wi...	必要な要件を満た
アーキテクチャ(ビット数)	x64	x86/x64	必要な要件を満た
物理メモリサイズ	16205MB	1025MB	必要な要件を満た
システムドライブ(C:)容量	26.1GB	1GB	必要な要件を満た
セットアップ先ドライブ(D:)容量	26.1GB	1GB	必要な要件を満た

《画面説明》

【構成名】コンピュータの確認内容を表示

【診断】対象コンピュータの状況を表示

【必須要件】セットアップ必須条件を表示

【解説】説明を表示

《診断内容》

(1) オペレーティングシステム (OS)

対象コンピュータの OS バージョンが必須要件の OS バージョンであるか確認します。

(要件を満たさない場合) OS の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

(2) アーキテクチャ(ビット数)

対象コンピュータのアーキテクチャが必須要件のアーキテクチャであるか確認します。

(要件を満たさない場合) アーキテクチャの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

(3) 物理メモリサイズ

対象コンピュータの物理メモリサイズが必須要件の物理メモリサイズであるか確認します。

(要件を満たさない場合) 物理メモリサイズの必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

(4) システムドライブの空き容量

対象コンピュータのシステムドライブの空き容量が必須要件の空き容量以上であるか確認します。

(要件を満たさない場合) システムドライブの空き容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

(5) セットアップ先ドライブの空き容量

対象コンピュータのセットアップドライブの空き容量が必須要件の空き容量以上であるか確認します。

(要件を満たさない場合) セットアップ先ドライブの空き容量の必須要件を満たしたコンピュータにて、セットアップを行ってください。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き



⑤ コンポーネントのインストール画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックします。

【コンポーネントのインストールについて】

【コンポーネントの確認】			
状況	No	処理内容	結果
設定済	1	Net Framework 3.5	インストール済み

《画面説明》

- 【状況】 インストールされているかどうかを表示
- 【No】 処理番号を表示
- 【処理内容】 対象のコンポーネント名を表示
- 【結果】 結果表示

《診断内容》

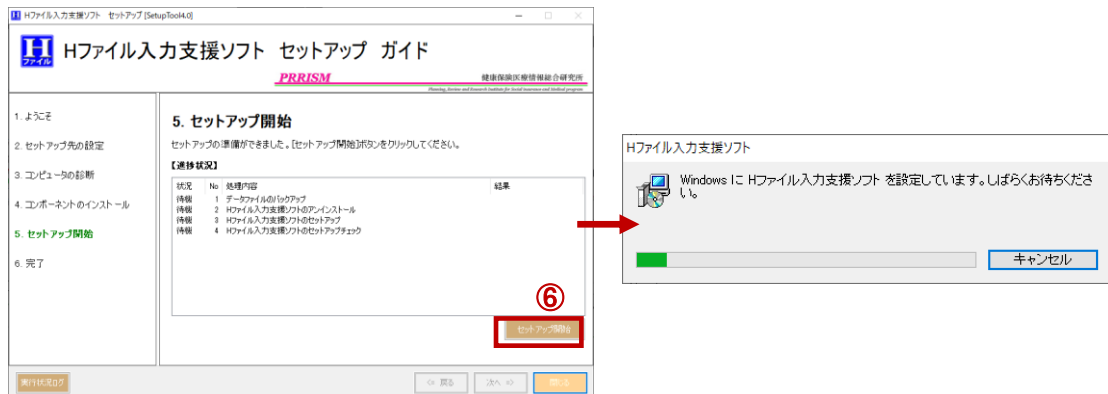
(1) Net Framework3.5

対象コンピュータに.Net Framework3.5 がインストールされているかを確認します。

※コンポーネントがすべてインストールされていない場合は、「[2. 必要コンポーネントのインストール](#)」などの内容を参考に、別途インストールを行ってください。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き



⑥ セットアップ開始画面が表示されたら、[セットアップ開始]ボタンをクリックします。

【セットアップ開始について】

状況	No	処理内容	結果
待機	1	データファイルのバックアップ	
待機	2	Hファイル入力支援ソフトのアンインストール	
待機	3	Hファイル入力支援ソフトのセットアップ	
待機	4	Hファイル入力支援ソフトのセットアップチェック	

《画面説明》

【状況】 進捗状況を表示

【No】 処理番号を表示

【処理内容】 セットアップ内容を表示

【結果】 結果表示

《診断内容》

(1) データファイルのバックアップ

Hファイル入力支援ソフトのインストール先フォルダにDBのバックアップを作成します。
(ファイル名: H入力支援_VersionupBackup.sdf) (新規インストールは対象外)

(2) Hファイル入力支援ソフトのアンインストール

Hファイル入力支援ソフトのアンインストール処理を実行します。(新規インストールは対象外)

(3) Hファイル入力支援ソフトのセットアップ

Hファイル入力支援ソフトのインストール処理を実行します。

(4) Hファイル入力支援ソフトのセットアップチェック

Hファイル入力支援ソフトのインストール処理が正常に終了したか確認します。

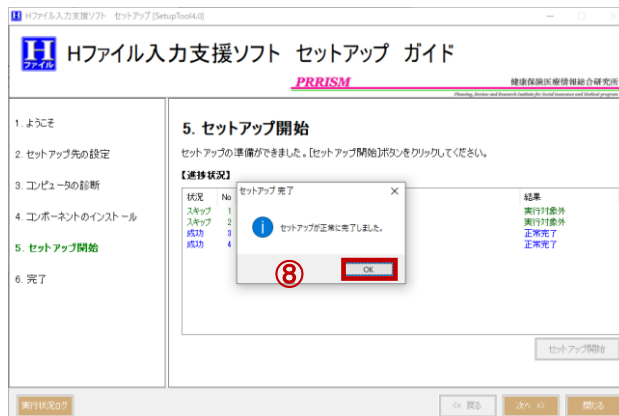
【注意】エラーが発生した場合

後述する「[6. インストールができない場合](#)」をご参照ください。

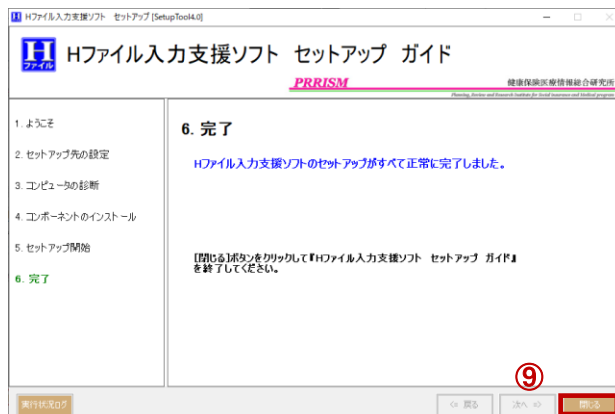
⑦ セットアップが開始されます。セットアップ完了までお待ちください。

⇒ 次ページに続く

⇒ 前ページからの続き



⑧ セットアップ完了メッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



⑨ すべての処理が完了となります。[閉じる]ボタンをクリックします。

4. アンインストール

Hファイル入力支援ソフトのアンインストールは、以下の手順に従って実施してください。

【注意】 アンインストールをする前に

Hファイル入力支援ソフトをアンインストールする前には、必ず直前までの入力データのバックアップを作成しているか確認してください。

なお、バックアップの方法につきましては、「DB バックアップ機能マニュアル」(別マニュアル「Hファイル入力支援ソフト_DB バックアップ機能マニュアル.pdf」)を参照ください。



- ① 「コントロールパネル」から「プログラムと機能」を立ち上げます。
 - ② 「プログラムと機能」画面から、「Hファイル入力支援ソフト」を選択し、「アンインストール」を押下して実行します。(.NET Framework 3.5 のアンインストールは必要ありません)
- ※ アンインストールを実行するには、管理者アカウントで作業を行う必要があります。
標準ユーザーでWindows にログオンしている場合は、管理者アカウントのパスワードを入力してください。
Windows の管理者アカウントでの作業については、各医療機関のシステム管理者とご調整をお願いいたします。

5. Q&A

Hファイル入力支援ソフトインストールに関する Q&A となります。

質問: Windows10 にはデフォルトで .NET Framework4.x がインストール済みですが、3.5 の有効化が必要なのでしょうか？

回答: 必要です。本マニュアルの「[2-2. .Net Framework3.5 をインストール／有効化する](#)」を参照し、「.NET Framework 3.5」を有効化して下さい。

質問: セットアップ.EXE の実行時、「古いバージョンのセットアップ EXE は、起動できません。」「既に同一のバージョンは適用済みです。セットアップツールを終了します。」と表示される。

回答: 古いセットアップ.EXE を起動しています。
調査用ホームページより、最新のセットアップ.EXE をダウンロードしてください。

質問: セットアップ時に、エラーが発生して、インストールができない。

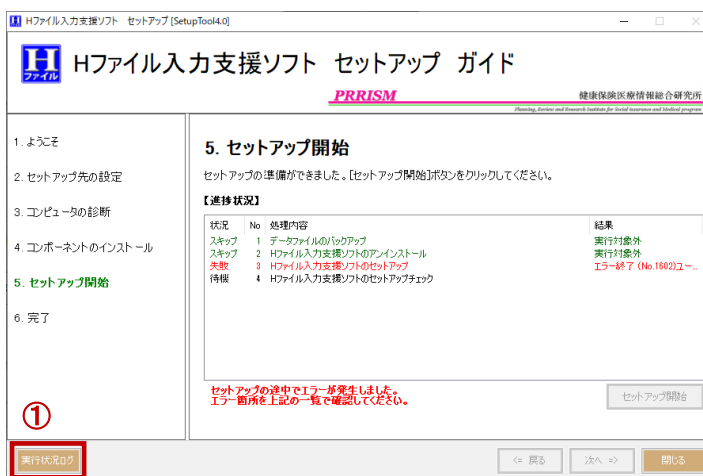
回答: 次章「[6. インストールができない場合](#)」を参照していただき、ログファイル及びエラー情報を添付のうえ、お問い合わせください。

6. インストールができない場合

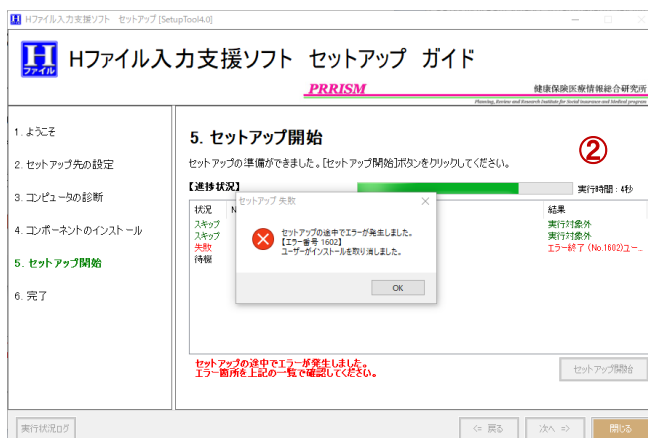
インストーラーを実行した際にエラー等でインストールができない場合は、PCを再起動して、再度セットアップ.EXEの実行をお試しください。

それでも、セットアップエラーが発生するようでしたら、以下のエラー情報を添付したうえで、事務局（dpc@prism.com）に送付ください。

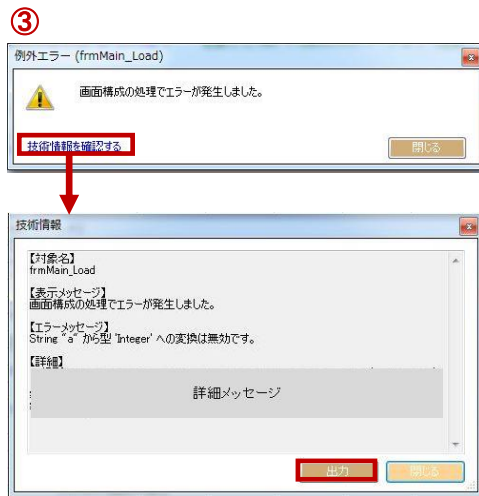
■添付するエラー情報



- ① セットアップツールの「実行状況ログファイル」を出力し送付ください。
セットアップツール画面の左下にある[実行状況ログ]ボタンより出力できます。
(ファイル名: 実行状況ログ_YYYYMMDD_hhmmss.xml)



- ② セットアップツール実行時、エラーが発生画面すべてのハードコピーをお送りください。
(可能であれば、エラーメッセージが見える画像)



- ③ 上記のようなエラーが表示される場合は、「技術情報を確認する」リンクラベルをクリック→
[出力]ボタンからエラーログを出力したうえで、画面キャプチャーと合わせてお送りください。
※なお、各ログファイルには、個人情報は含まれていません。